

聴覚障害のある方も楽しめる体験型コンサート

落合陽一×日本フィルプロジェクト Vol.1

「耳で聴かない音楽会」を開催

日本フィルが主催、博報堂、落合陽一氏率いるピクシーダストテクノロジーズが
テクノロジーを活用した聴覚補助システムで支援

開催日：2018年4月22日（日）東京国際フォーラム

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団（理事長：平井俊邦、以下日本フィル）は、2018年4月22日（日）、東京国際フォーラムにて、主に聴覚障害のある方を対象にした体験型コンサート「耳で聴かない音楽会」を開催いたします。本コンサートについて、株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：水島正幸、以下博報堂）、ピクシーダストテクノロジーズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：落合陽一、以下ピクシーダストテクノロジーズ）が、テクノロジーを活用した聴覚補助システムで支援いたします。

「耳で聴かない音楽会」は、主に聴覚障害のある方に音楽を楽しんでいただく趣旨で企画した、体験型コンサートです。耳での音響の受容に加え、全身で振動を体感出来る仕組みと、「体験」を重視した内容により、聴覚障害のある方にも音楽を楽しんでいただける構成としました。具体的には、テクノロジーを活用した聴覚補助システムにより振動を身体で感じながら演奏を聴くほか、実際に楽器を手にして振動を体感する、至近距離で演奏を聴く等のプログラムを想定しています。聴覚補助システムとしては、本コンサートのために新たに開発した、音の振動を身体で感じる風船型デバイス「SOUND HUG」(※1)のほか、ジャケット型ウェアラブルデバイス「ORCHESTRA JACKET」(※2)、頭に装着することで音に反応し光と振動を生み出す「Antenna」(提供：富士通)などを活用し、手話等での会話・言語補助も実施します。コンサートの設計では、アドバイザーとして筑波大学附属聴覚特別支援学校音楽科教諭の山本カヨ子先生、企画協力としてデフサッカーの仲井健人選手ほか、聴覚障害を持つ多くの方にもご参画いただいています。

なお、本コンサートは、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）の助成が決定しています。あわせて、趣旨に賛同いただける方を募るクラウドファンディングを本日より実施いたします（詳細は別紙）。



【本件に関するお問い合わせ】

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 広報部 杉山
株式会社博報堂 広報室 江渡

TEL：03-5378-6311
TEL：03-6441-6161

※ 1 「SOUND HUG」

抱きかかえることで音楽を視覚と振動で感じられる球体型デバイスです。楽曲全体や特定の楽器の音を MIX して、球体の振動スピーカーで再生することで音楽を振動として感じることができます。また、音楽と合わせて球体が発光する仕組みになっていて、振動だけでは伝わりづらい曲の旋律を視覚で感じる事ができます。



※ 2 「ORCHESTRA JACKET」

落合陽一氏と博報堂、株式会社 GO が開発した、着ることで音楽を全身で体感できるジャケット型のウェアラブルデバイス。ジャケットに仕込まれた数十の超小型スピーカーから個々に再生して MIX する仕組み。1 人ひとりの身体の形状や動きに応じて音楽の聴こえ方も変化し、特に、サブウーファーが生む低音や全身に響く振動が体験者に大きな迫力を生みだします。(2017 年 4 月 27 日発表)



<http://www.hakuhodo.co.jp/archives/announcement/38600>

■ 公演概要

日時： 2018 年 4 月 22 日 (日) 開場 13:00、開演 14:00
場所： 東京国際フォーラム ホール D7 東京都千代田区丸の内 3-5-1
演奏者：日本フィルハーモニー交響楽団による室内アンサンブル

FUTABA (ピアノデュオ)

江原陽子 (司会とお話)

対象： 聴覚障害の有無にかかわらず一般の方 (小学生以上)

料金： 2,000 円

申込： 日本フィルサービスセンター Tel.03-5378-5911[平日 10-17 時]

<http://www.japanphil.or.jp>

先行発売：聴覚障害のある方のみ 3 月 1 日 (木) 10 : 00 ~

一般発売：4 月 10 日 (火) 10 : 00 ~

主催： 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

助成： アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

協力： 落合陽一 (ピクシーダストテクノロジーズ株式会社) ・株式会社博報堂

富士通株式会社

筑波大学附属聴覚特別支援学校

女子美術大学アート・デザイン表現学科 ヒーリング表現領域



FUTABA



江原陽子

当日のプロプログラム：

演奏曲目 (ホールにて)

指揮してみよう！

J. ショトラウス II 世：ラデツキー行進曲

身体で聴こう！

サン＝サーンス：組曲「動物の謝肉祭」(ナレーション、画像つき) 他

楽器体験 (ロビーにて)

ヴァイオリンに触れてみよう！

■クラウドファンディング概要

公演で使用するシステム開発の資金確保のため、クラウドファンディングもあわせて実施します。

クラウドファンディング readyfor

落合陽一×日本フィル Vol.1 «耳で聴かない音楽会»

テクノロジーで挑む、音楽のバリアフリー

<https://readyfor.jp/projects/15399>

※公演チケットつきのリターンプランもございます（限定 100 席）



■プロフィール

落合陽一（おちあい・よういち）

筑波大学准教授 / メディアアーティスト / Pixie Dust Technologies, Inc. CEO。

1987 年生まれ、2015 年東京大学大学院学際情報学府博士課程早期修了、博士

（学際情報学）。その後、ピクシーダストテクノロジーズ株式会社創業、フェーズドアレイ技術

やデジタルアプリケーション技術の開発に関わる。2015 年より筑波大学図書館情報

メディア系助教 デジタルネイチャー研究室主宰。2017 年よりピクシーダストテクノロジーズ

株式会社と筑波大学の特別共同研究事業「デジタルネイチャー推進戦略研究基盤」

基盤長/准教授。機械知能と人間知能の連携について波動工学やデジタルアプリケーション技術を用いて探求。

2015 年より、一般社団法人未踏 理事、一般社団法人バーチャルリアリティコンソーシアム理事。2017 年より筑波大

学 学長補佐、大阪芸術大学客員教授、デジタルハリウッド大学客員教授。受賞歴として、IPA 認定スーパークリエ

ータ・天才プログラマー（2010 年）、ワールドテクノロジーアワード（2015 年）、リアルスエレクトロニカ Honorary

Mention（2016 年）、グッドデザイン賞（2014 年、2015 年）、経済産業省 Innovative Technologies 賞

（2014 年、2015 年、2016 年）、ザンガレンシンポジウム 明日のリーダー200 人、ベストナレッジプール 40 人に選出

（2017 年）、文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品：アート部門/エンターテインメント部門（2017 年）など。



Photo by Shuya Nakano

■日本フィルハーモニー交響楽団

1956 年創立。創立指揮者渡邊暁雄。

60 年を超える歴史と伝統を守りつつ、さらなる発展を目指し、「オーケストラ・コン

サート」、「リージョナル・アクティビティ」、「エデュケーション・プログラム」という三つの

柱で活動を行っている。首席指揮者ピエタリ・インキネン、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、桂冠名譽指

揮者小林研一郎、正指揮者山田和樹、ミュージック・パートナー西本智実という充実した指揮者陣を中心に演奏会を

行い、「音楽を通して文化を発信」している。

2011 年 4 月より、ボランティア活動「被災地に音楽を」を開始。2017 年 12 月末までに 232 公演を数え、現在も継

続している。（オフィシャル・ウェブサイト <http://www.japanphil.or.jp>）

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。



創立指揮者 渡邊 暁雄

■株式会社博報堂

博報堂は「生活者発想」と「パートナー主義」という2つのフィロソフィーのもと、高いク

レイティビティを持つプロフェッショナルがチームを編成し、広告領域のみならず、戦略構築から社会的なムーブメントの創

出まで、あらゆる領域においてクライアントの皆様の課題解決をお手伝いしている。マーケティング環境の変化を先取りし、

統合マーケティング・マネジメント力でクライアントの事業価値を向上させる世界一級のマーケティング・カンパニーを目指し

ている。（コーポレートサイト <http://www.hakuhodo.co.jp/>）

